

2014年 2. 8 「Y e l l (エール) 上映会」

・・・アンケートより・・・

20年ぶりの大雪とも積雪30cm越えとも言われる悪天候の中、およそ200人もの人にお集まりいただきました。スタッフ一同、感謝と感激の気持ちでいっぱいでした。

そのうち、65人ほどの方がアンケートに答え、提出してくださいました。いずれも好意的で、雪の中を押してきた甲斐があったと、おっしゃってくださいています。

以下に、その内容をまとめます。

1. 上映会を知ったきっかけ

	情報源	回答数	備考
①	あこがれスタッフから	35	
②	チラシをもらった	9	
③	新聞や地域情報誌で	6	上毛新聞「タカタイ」 月刊誌『致知』
④	インターネットで	2	
⑤	電話や手紙で	1	
⑥	ラジオ高崎で	1	
⑦	その他	17	知人、友人、家族

2. 江袋学&藤原純平ミニコンサートの感想

- ・勇気もらった。
- ・歌も詞も良く、みんなで歌えば元気なクラスになると思う。
- ・楽しそうな小学校の風景が浮かんできました。
- ・歌は子どもを一つにしてくれると思います。
- ・学校に活力を与えてくれると思います。
- ・「ゆず」張りの歌をありがとうございました。
- ・CDにしてほしい。
- ・マナブンジャーの「あきらめない」「自分の限界を決めない」という言葉が心に残りました。
- ・G o o d!!
- ・良かったです。うらやましい。
- ・気持ちが明るくなりました。
- ・楽しそうにしている先生がいることに驚いた。ぜひ、続けてほしい。
- ・とても楽しい歌で、会場が一体になれたと感じました。

- ・歌で学校を盛り上げる発想はありませんでした。斬新でおもしろい。
- ・一つ一つの歌詞に深い意味があって、感動しました。
- ・学校に行くのが楽しみになるでしょう。
- ・学級歌というものを初めて知りました。クラスをまとめる手段としてもいいな、と思いました。
- ・C 4 t hで歌詞を送れば、作曲してくださるなんて素晴らしい。さまざまな能力を持った先生が活躍していらっしゃることを知り、嬉しいです。
- ・何曲も持ち歌があるのでしょうか。もっと聞きたかったです。私も教師で、秋の文化祭で子どもたちと歌を作って楽しみました。

3. 映画「Yell(エール)」の感想

- ・みんなに観てもらいたい映画です。
- ・改めて、先生ってすてきな職業だと思いました。
- ・泣けました。南牧の生徒の一生の宝になる経験になったと思います。
- ・中島先生の生徒たちに寄り添って、日々過ごされる姿が印象的でした。卒業式、式後のサプライズと、本当に感動的な場面でした。その式に至るまでの、中島先生の“寄り添い”があったからこそ、あの素晴らしい卒業式サプライズになったのだと思います。
- ・中2後期～中3の道徳で使わせていただきたいと思いました。中島先生も子供たちも笑顔あふれ、人間味あふれる素晴らしい人柄だと思いました。
- ・自分が学生の頃に、このような先生と生徒の関係が築けていたら良かったのになあ、と羨ましく思いました。
- ・良質なドキュメンタリーでした。我武者羅の気持ちがよく伝わる映画でした。
- ・「自分をいちばん応援しているのは自分自身だ」という言葉を信じ、頑張ってみようと思える素晴らしい映画でした。全員のまっすぐな姿勢に心を打たれました。
- ・感動！涙！の連続でした。観せていただけて感謝です。
- ・大変感動しました。本気で心と心が通うと、素晴らしいものができるのだと思います。
- ・合唱曲『自分へのエール』にすごく感動しました。
- ・ありがとうございました！先生って素晴らしい、子どもって素晴らしい。また、がんばって子どもたちと毎日過ごせそうです。
- ・教師となって悩んでいる自分も励まされているような気がしました。
- ・「本気で取り組んでいるからこそ不安になる」という言葉が印象的でした。
- ・教師をしている自分にも強いエールをもらえました。明日からまたがんばろう、と思いました。
- ・教師と生徒という関係から、対人間という成長した中学生に感動しました。
- ・涙が止まりませんでした。人の気持ちがあふれ、その気持ちに寄り添う優しさがあふれ、本当に感動しました。
- ・生徒のために活躍されている先生は強いと思いました。生徒のパワーは無限だと思いました。
- ・DVD化、ぜひお願いします。
- ・すばらしかったです。自分の子どもの卒業式より泣きました。中島先生のような先生が1人でも増え

るよう、この映画を、すべての教員の研修に組み込んでほしい。

- ・ 真実ってすごい。ほんとうの思いは、やっぱりしっかり伝わるのですね。私も自分を好きと言える自分でありたいと思います。毎日、自分にエールを送りながら、周りのみんなにもエールを送りたい。
- ・ 「先生」っていうものの存在の大きさ、影響力、中島先生の愛の大きさ、それに応えようとする生徒、我武者羅応援団の熱い応援、すべてが強烈に心に来て、人生を考え直しました。
- ・ 2度目ですが、また感動しました。もっと深く感じることができました。中学生と先生の理想的な姿勢ですね。
- ・ 我武者羅の人たちから応援してもらっただけでなく、自分たちから先生を応援しようという生徒たちの姿勢がすばらしかったです。
- ・ 時々、自信を失くしたり、大人として教師として、親として迷ったりする自分にとって、とても勇気をいただきました。
- ・ 我武者羅応援団の存在は、心の支えの応援だったと思えました。こんな素晴らしい先生が、今の教育界に実際にいることに驚きました。体当たりだけでは生徒は育たない。中島先生のように、細やかな気配りのある先生こそが、今の学校に必要ではないでしょうか。
- ・ この映画を若い先生たちに観せてあげたいと思いました。私もエールをもらいました。
- ・ すばらしかったです。自分の学校に我武者羅応援団を呼びたいと、以前から考えており、「先を越された!!」と思いました。ですが、やはり想いの強さが違ったんだと、中島先生に敬服しております。想いを形にする大切さも知りました。

4. 感想発表・質疑応答コーナーの感想

- ・ ご本人登場のディスカッションは、サプライズで良いと思った。
- ・ 魚山監督の「エール」への想いがよくわかりました。
- ・ 良かったです。会場が一体となった感じです。
- ・ かかわりのある人たちの話を聞いて、背景がよくわかってますます良かったという思いを強くしました。
- ・ 女性の方の感想がすごく良かったです。
- ・ 来場した出演中学生（現高1）3人の紹介も良かったです。
- ・ 熱いメッセージがあふれ、良かったです。
- ・ 先生、一般と会場、それぞれの意見が聞けて良かったです。
- ・ 最後の監督の「みんな、誰かを日々の生活の中で応援している。エールを送っている。」という言葉にハッとさせられました。何気ないこと、たとえばお弁当作りなどにも心を込めたいと思います。
- ・ 中島先生は、生徒のことを人と人とで見ているのがすごいと思いました。
- ・ 学校の先生って、こんなふうに見てくれているのかあと、安心しました。
- ・ 映画に感動している人がたくさんいるのがわかって、もっと多くの人に観てもらいたいと思います。
- ・ 映画のできるまでの過程がよくわかりました。やはり、1日1日生徒としっかり向かい合い、最善の努力をしてこられたからこそ、感動が伝えられるのだと思います。

5. その他 お気づきの点など

- ・雪の中でしたが、学校での仕事を切り上げて駆けつけて本当に良かったです。私も今春、卒業生を出します。その日まで生徒とともに大切に過ごしていきたいと思います。中島先生、ありがとうございます。泣きました。
- ・一生懸命生きることが大切ですね。この出会いを大事にします。
- ・「自分へのエール」の楽譜が欲しいです。
- ・私は教師ではありませんが、人と人のかかわりの深さを感じ、自分もベストを尽くしたいと思いました。
- ・我武者羅應援団が、決して自分たちが主役にならず、応援に徹する姿は素晴らしいです。
- ・大雪の中、多数のみなさんが集まり、びっくりしました。中止にならず頑張ってきて、良かったです。
- ・スタッフのみなさん、ありがとうございました。感謝、感謝です。お手伝いできることがあればします。
- ・長野から新幹線で1万円かけてきましたが、それだけの価値がある、素晴らしい時間を過ごさせてもらいました。群馬のスタッフ、先生方、子どもたち、PTAのみなさん、すごいですね。長野も負けないように頑張ります。